

事務事業名 地形図修正事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1871

施策：	28	市街地の形成	財務コード	--
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	建設部
基本事業の 成果指標			担当課	都市計画課
			担当係	計画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	令和01年度 ~ 令和02年度		新規・継続	継続	会計区分			実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市域全域			データ作成 航空写真を撮影し、それを基に本市の地形図データを作成する。 地図作成 都市計画基本図（1/2,500、1/5,000、1/10,000、1/25,000）及び都市計画管内図（1/50,000）を作成し、作成した地図については、窓口にて販売する。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）							
本市の地形図を最新のものに更新し、土地利用検討や災害対応に活用し、良好な都市の形成を図る。										
成果指標名称			単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
事業進捗率（%）			%	20	100					
5. コスト										
事業費			計	千円	5,709	22,836				
			国	千円	0	0				
			県	千円	0	0				
			地方債	千円	0	0				
			その他 一般	千円	0	0				
正職員人工数			人工	0.3	0.2	0				
正職員人件費			千円	2,420	1,606	0				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)			千円	8,129	24,442	0				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）			前地形図の情報が平成19年時のもので、10年以上経過して実状と乖離していることから、業務委託をして最新の地形図に修正を行い、年度内に業務を完了した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	< 状況 > < 原因 > < 課題 >						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄							
現在の地形図の情報が平成19年時のもので、10年以上経過していることから、最新の地形図に修正が必要となっている。										